

救急医学

責任者：井上 義博 教授

教育成果（アウトカム）：

緊急性の高い患者さんに対して正しく対応ができ、診察法、検査法、治療法を選択する能力を養い、それらの技術、方法、原理などを理解し、対応できるように観察し、さらにそれらを実施できる能力を身につける。

行動目標（SBOs）：

1. 一般目標を達成するために、次の具体的な事項を行動目標とする。
2. 三次外来で直接患者さんおよび関係者に接し、主訴および診断上必要な現症の経過を把握し、病歴を記載できるようになること。
3. 救急診療上必要な検査（後述）を見学し、簡単なものは実施できるようになること。
4. 各種検査結果の判定、診断が可能となること（画像診断、機能検査、血液検査など）。
5. Primary care（初期治療）のための計画が建てられること。
6. Critical care のための知識と技術を習得し、心肺蘇生術の実施、全身管理と薬物療法の具体的計画、手術療法の適応に関する知識を身につけること。
7. 集中治療の必要性、具体的内容、ICU 症候群などに関する知識と対応について説明できる。

特に留意すべき注意事項：

1. 高度救命救急センターでは学生を診療チームの一員として扱うので、医師としての言語、態度、服装に注意を払うこと。
2. 聴診器など実習に必要なものを必ず携帯すること。
3. 患者さんの前で私語、失笑など慎む。
4. 特に夜間の三次救急外来では看護師などの Co-medical staff との協力も学ぶこと。
5. 集中治療室、手術場への入室は規定に従うこと。
6. 守秘義務は厳守のこと。
7. カルテやエックス線写真などの病棟以外への持ち出しやコピーは厳禁とする。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール[救急医学]

[第1週]

指導医師名：①井上義博教授 ②山田裕彦特任准教授 ③中館俊英講師 ④鈴木泰講師 ⑤藤野靖久講師 ⑥照井克俊講師 ⑦小野寺誠特任講師
 ⑧大間々真一特任講師 ⑨高橋智弘特任講師 ⑩小鹿雅博特任講師 ⑪菊池哲助教 ⑫石部頼子助教 ⑬高橋学助教 ⑭小守林靖一助教
 ⑮桂永行助教 ⑯菅重典助教 ⑰佐藤寿穂助教 ⑱増田卓之助教 ⑲佐藤正幸助教 ⑳佐藤諒助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習
[場 所] [指導医]	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥
火	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	縫合実習
[場 所] [指導医]	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ⑱⑳
水	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	総回診
[場 所] [指導医]	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[病棟] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ⑯⑰⑱⑲⑳
木	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習
[場 所] [指導医]	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥
金	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習	担当患者・三次外来実習
[場 所] [指導医]	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥	[三次外来] ②③⑤⑥

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
実習用機械	長期人工呼吸器	6台	呼吸管理の教育
実習用機械	呼吸モニター	各1台	〃
実習用機械	胸腔ドレナージセット	10台	胸部外傷患者管理の教育
実習用機械	止血セット		救急患者の緊急止血教育
実習用機械	人工心肺蘇生装置、除細動器	2台	〃
実習用機械	CPR訓練用マネキン（成人・小児・乳児）	3台	〃
実習用機械	気管内挿管練習モデル	2台	〃
実習用機械	集中治療監視装置	1式	重症患者管理の教育
実習用機械	心拍出量測定装置	1式	〃
実習用機械	代謝モニター	1台	〃
実習用機械	高性能乳児医療トレーニングシミュレーター	1台	〃
実習用機械	内視鏡セット（上部、下部消化管用、気管支用）	各1台	消化管、気管、膀胱の内視鏡検査と保存的治療教育
実習用機械	内視鏡用上部消化管モデル	1台	〃
実習用機械	大動脈バルーンポンプ	2台	救急患者の循環補助手段の教育
実習用機械	心臓ペースメーカー	2台	〃
実習用機械	人工透析装置	2台	救急医療における腎不全患者管理教育
実習用機械	血液凝固計	1台	〃
実習用機械	ベッドスケール	1台	〃
実習用機械	麻酔器、患者監視装置	2台	外来麻酔と救急麻酔教育
実習用機械	神経診察用セット	1台	救急患者の検査診断教育
実習用機械	診断器セット	1台	〃
実習用機械	循環器総合診断システム	1台	〃
実習用機械	中毒物質分析装置	1台	〃
実習用機械	顕微鏡	1台	〃
実習用機械	血液分析装置	1台	〃
実習用機械	脳波計	1台	〃
実習用機械	心電図記録装置	2台	〃
実習用機械	血流記録計	1台	〃
実習用機械	聴性誘発脳幹反応検査装置	1台	〃
実習用機械	エックス線装置	1台	〃
実習用機械	CTスキャン	1台	〃
実習用機械	カラードップラー	1台	〃
実習用機械	電子走査超音波診断装置（胸部用、腹部用）	1台	〃
実習用機械	体温自動冷却加温装置	2台	高体温および低体温管理
実習用機械	新生児処置台	1台	〃
実習用機械	搬送用保育器	1台	新生児の救急医療教育
実習用機械	輸液ポンプ	9台	〃
実習用機械	ニューモガード	1台	〃
実習用機械	骨折、開頭、開腹等のセット救急手術器具	各1セット	手術器具と救急手術用教育
視聴覚用機械	VTR装置	1式	救急医学の視聴覚教育
視聴覚用機械	外傷救急手技ビデオ	1式	〃
視聴覚用機械	医用テレビシステム	1式	〃
視聴覚用機械	8ミリビデオセット	1台	〃
視聴覚用機械	パーソナルコンピューター	1台	〃
視聴覚用機械	スライドプロジェクター	2台	〃
視聴覚用機械	人骨標本	1体分	人体骨格及び解剖の教育

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
視聴覚用機械	半自動除細動器心電図データ解析 処理用端末 (PC-VS770HG)	1 台	救急医学の視聴覚教育
視聴覚用機械	プロジェクター一式 (LV-7255J 他)	1 台	〃
視聴覚用機械	複合機 imagio (MP C4002)	1 台	講義・実習レジュメ作成コピー
視聴覚用機械	デスクトップパソコン (PC 組立キッ ト)	1 台	実習中試験問題作成

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 受講態度：20 点
2. 実習評価 1（教員による学生評価シート I）：10 点
3. 実習評価 2（教員による学生評価シート II）：20 点
4. 実習初日試験：25 点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25 点